



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

ピカピカのバスをプレゼント

益城幼稚園にスクールバスの贈呈

8月30日、益城幼稚園でスクールバスの贈呈式がありました。これは、スクールバスが老朽化し、同園が困っていることを知った「国連 NGO 新日本婦人の会」が新しいバスを寄贈したものです。

同会は、震災直後から食器や本を寄贈したりするなどさまざまな支援を町に行っています。会長の笠井貴美代さんは、「被害の大きかった益城町で、未来を担う子どもたちにスクールバスを寄贈できてうれしいです」と話しました。



園児にお礼を言われ、満面の笑みを浮かべる笠井会長



体いっぱい「ひまわりのおか」の世界観を表現した石川さん

表情と声で聴かせる童話

益城町童話発表大会を開催

広安小学校で、第45回益城町童話発表大会が9月3日に開催されました。

今回も、町内5つの小学校から各2人、計10人の代表が出場しました。童話とは言うものの、その内容は戦争や震災を取り扱ったものなどもあり、聞き手の涙を誘う場面もありました。審査の結果、石川元気さん(飯野小6年)と田中李佳さん(広安西小5年)が最優秀賞を受賞。二人は同月7日に行われた郡大会でも素晴らしい発表を行い、優秀賞に輝きました。

町の象徴が生まれ変わります

町総合体育館災害復旧工事安全祈願祭

町総合体育館災害復旧新築工事の安全祈願祭が、9月6日、更地となっている同体育館敷地内で行われました。

旧体育館は熊本地震の際、最大1,350人が避難し、町内最大の避難所となりました。新しい体育館の建設費は約38億円で、国から補助を受け、同じ場所に建てられます。西村町長は、「今回、総合体育館を建て替えるにあたり、従来はなかった空調やLEDなども整備することとしました。町の健康づくり、そして復興のシンボルとなるものと期待しています」と話しました。



工事の安全を祈願し「苺初め」を行う西村町長

Pickup Plus
今月のプラス+



町が実施している発掘調査で、貴重な文化財が発掘された大辻遺跡(馬水北)の現場を公開します。足元にある歴史を見に来ませんか。
期日：11月3日(土) 午前10時30分～正午 *雨天中止
場所：町立馬水団地建設予定地・馬水442-1(現地集合)
お問い合わせは生涯学習課生涯学習係(096-286-3337)まで。